

「あゆみYELL」は、「子どもたちがどんな環境に生まれても心身共に健康で幸せに生きていける社会を作りたい」という代表・大庭美代子さんの熱い思いに共感したメンバーが集まり2022年6月に発足。「あゆみYELL」という団体名には、誰かの一步（地域に活動に出てみる、そこで誰かと繋がる、何か新しいことに挑戦すること、夢を持つことなど）を応援する団体という意味が込められています。川崎市多摩区を中心に保健師や助産師、教員、心理カウンセラーなど多様な職業の約20名が集まっています。（取材：上田 祐子）

あゆみYELLでは、子育て世代の方が繋がり集まれる居場所、ティーンズの居場所、子どもたちの未来のためにできることを考える会の3つのことを運営しています。

「おしゃべりサロンあゆみ」

多摩区在住で助産師の大庭さんが、妊娠や出産、子育ての悩みを気軽に話してもらう居場所として2016年から主宰しています。大庭さんは、子どもは信頼できる人と出会うことが大切であり、出会いをつくる場として居場所を開きたいとずっと思っていました。そのためには、地域で信頼を得なければならない、また、子どもが健全に育つには、大人が元気でないと子育てできないという思いから、日頃から忙しいママ、プレママ達が少しでも楽しく過ごせたり、ホッとできる場として子連れでも単身でも参加できるサロンとして開催しています。



◀ おまつりのブースで参加者のママとの会話からちょっとした相談も

おしゃべりサロンで、フラを楽しむ ▶



◀ つながるカフェの運営メンバー

「つながるカフェ」

10代が気軽に立ち寄れる居場所です。2023年3月川崎市多摩区はぐるま共同作業所（みらぼ）のホールを借り、毎月第3土曜日に開催。家でも学校でもないサードプレイス（第3の居場所）をめざして活動しています。大庭さんは2018年に子どもの放課後支援のために「寺子屋しもふだ」（別団体）を立ち上げ、川崎市の地域の寺子屋事業を受託しました。支援していく中で小学校を卒業してしまった子どもたちの行く場所がなく、大人との関係性も希薄になってしまい、中高校生の社会課題が増えてくる事に気が付きました。

それまでは、一人NPOと呼ばれるほど、メインの運営はひとりでやってましたが、他の人と一緒に運営をした方が活動が広がっていくという思いから、『あゆみYELL』という団体として立ち上げました。「つながるカフェ」は職種や職業も色々な大人たちと地域の大学生が運営しています。お菓子やお茶を用意して、イベントを毎月開催し、何気ないことをおしゃべりしたり、気になることを相談したり、勉強や宿題をしたり、遊ぶこと（ボードゲーム）も出来たり、ただただぼーっとしてもいい、一人で来ても心地よく過ごすことができる場所を目指しています。



なかのしま子ども応援まつりにて代表の大庭美代子さん

「人生いつからでも夢は叶う～希望のバトンをあなたに～」

2019年9月から始めた「助産師ガンバの夢の話」という居場所の必要性を考えたり、子どもたちの未来のために大人にできることを考える会がはじまりました。代表の大庭さんが、機能不全家族（貧困・家族のアルコール依存症）という厳しい環境下に生まれ育ちながら、信頼できる大人に出会い、そんな大人たちに支えられながら、夢を追いかけることで強く生きてこれたという体験談を語ります。現代の社会でも、厳しい環境にいる子ども達がいることを知り、そうした子どもたちの未来のために自分に何ができるのかを共に考えるきっかけとなります。また、体験談を聞いた後は、参加者同士で共有する時間を設けています。参加者との対話から自らの希望を実感できる場になっています。

大庭さんは産後うつを経験から助産師を志すようになり、子育てをしながら看護学生をし、卒業後は大学病院で勤務。川崎市に転居後は助産師・保健師として働きながら地域を奔走、活動の中で様々な人達と出会い、社会資源、人とのつながりに助けられて今があるといっています。

大庭さんの体験談に耳を傾ける参加者



どんな家庭環境に生まれても、子どもたちが心身ともに健やかに将来に夢や希望を持って生きていける社会にしたい。そのためには、子育ての主な担い手であるお母さんが、まずは笑顔でいられるように、少しでも不安なく育児ができるように、それが子ども達や家族の幸せにも繋がるという大庭さんの強い信念と行動力。「あゆみYELL」のルーツは、大庭さん一人での活動でしたが、10年後その思いに触れ、共感し活動に参加する仲間の輪が広がっています。「あゆみYELL」には大庭さんの大きな愛・エールによって、次々と人が出会い・つながる奇跡が起こっていました。私自身も「この出会い」をきっかけにぜひ川崎で連携させていただきたい思います。（うえだゆうこ）

発行：2024年12月20日
発行者：(特非) 全員参加による地域未来創造機構（略称：未来機構）
〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-8-4 オルタナティブ生活館3F
Tel:045-534-7131 Fax:045-534-7151
E-mail:minnano@miraikikou.org

みんなの未来きこう

第11号

2024年12月20日

発行：(特非) 全員参加による地域未来創造機構
発行責任：希代監

2024年度『地域を豊かにするための連続講座』終了しました

主に市民基礎講座を受講した人、運動グループや地域活動団体のリーダー等を対象にし、受講者の思いをさらに醸成し、次の行動に一步踏み出すことをサポートするための講座

生活困窮者、子どもの学習支援や子育て、高齢者のサポートなど、居場所づくりのそれぞれの活動が素晴らしく、形になるまでの過程の話を聞く事が出来て、感動しました。

居場所というのは、利用する人、関わる人にとっても居場所となっている事を学びました。



10/16(水)フィールドワーク「宮ノ前テラス」（横浜市泉区）にて、高橋裕子さんの話を聞く

最も感じたのは主体となる人たちが自身が楽しんで活動を行っていることでした。せねばならないという義務感ではなく、自分が楽しいからやっているということが続けていくには必要だと思いました。

2025地域未来フォーラム 市民活動がだれかの業になる！ —「社会的処方」という実践—

従来の医療の枠組みでは対処が難しい問題に対し、薬ではなく「地域での人のつながり」を処方する「社会的処方」という取り組みが注目を集めています。

【基調講演】西 智弘さん

医師・一般社団法人プラスケア代表理事

川崎市の武蔵小杉や元住吉を中心に「医療者と気軽につながるカフェ：暮らしの保健室」を運営。

2025年2月19日(水)
14:00～16:30新横浜スペースオルタ
(新横浜駅徒歩8分)

●YouTubeライブ配信あり

【事例報告・トークセッション】

- 西 智弘さん
- 木村里美さん 訪問看護事業 (株)こころ代表
「あゆむ訪問看護チーム」が築66年の空き家を活用し、出産前後の家族が過ごす産前産後ケア施設「あゆむ庵」を運営。赤ちゃんから高齢者までが集う「まちの保健室」をめざす。
- 石川昭子さん NPO法人W.Coたすけあい戸塚
訪問介護事業所と、だれでも来れる「ふれあい広場よつば」を併設して運営。利用者の個別多様な人生に寄り添いながら地域に開かれた「場」づくりを実践する。

●コーディネーター：佐野めぐみさん
(生活クラブ生協副理事長)

お申込みはこちらから
https://x.gd/kLIrR



(特非) 全員参加による
地域未来創造機構
(略称：未来機構)



〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-8-4 オルタナティブ生活館3F

TEL:045-534-7131
FAX:045-534-7151E-MAIL:minnano@miraikikou.org
URL:https://www.minnanomiraikikou.org

アソシエーション交流会

9月26日（木）横浜市開港記念会館

神奈川県内で様々な市民活動に取り組んでいる方や社協の方、7名の参加がありました。高齢者の居場所、子ども食堂、カフェなどを開設している方や中間支援組織、市民セクター等で活動をすすめている皆さんでした。今回の参加動機は、開設して年数がたち今後の活動を模索している、月1回の活動でしか場所を使えていないから有効活用のヒントが欲しい、これからの活動へのヒントやつながりを広げたいなど、活動されているからこそ見えてきた課題や悩みなどを持ち寄って参加されていました。



ヒトコトデザイン（株）の清水謙さんにファシリテーターをお願いし、グループに分かれてワークショップを行いました。第1ラウンドは「メンバー交流サイト みんなのみらい」の書き込みからテーマを設定し、ボランティアメンバー間の交流や意見をどのように活かしていくかについて、意見交換をすすめました。それぞれの活動内容の共有にもなり、テーマを絞ったことでお互いの活動へ参考になることもあったようです。

第2ラウンドは、それぞれ関心のあるテーマを出し合い、4つのテーマ、子ども食堂のあり方、資金調達について、地域ボランティアの集め方、情報発信について、それぞれ話し合いを行いました。テーマを分け、解決したい内容についてそれぞれで話を深めることができ、活発な意見交換やアイデアを出し合うことができたようです。思いや考えを言葉にし話をするすることで自分自身の考えを整理できたり気づきがあったり、直接会って話す場を持つことは、どんなことにも必要で、有効であることを再認識できた機会となりました。

参加した方からは、他団体の活動が参考になった、新しいアイデアを得ることができた、自分たちの活動を認識することができた、などの感想がありました。この交流会を通じて、みなさんの今後の活動が更に広がり、充実したものとなり、地域の課題解決につながることを願っております。



報告：さがみ生活クラブ生協理事長 森 洋子



11月13日（水）かながわ県民センター

メンバー交流サイト「みんなのみらい」が立ち上がり、2回目のアソシエーション交流会が開催されました。ここは初めて参加する人も緊張や身構えるような空気もない不思議な空間です。「あなたの意見が聞きたい」「私ならこう思う」のキャッチボールができる場であり、交流会なのです。

1回目でお会いした方たちにも、今回初めて会う方たちにも、みんな同じ「こんにちは。よろしくお願いします。」で明るくスタートしました。ファシリテーターとして清水謙さんが居てくださることは何よりも心強い存在です。

初めに2グループに分かれて、メンバー交流サイトにNPO法人まちラボ代表の大越雅美さんが書き込んだテーマ「駅近の築50年の200世帯ほどのマンションに居場所を作るとすれば？」をもとに話し合いました。参加者それぞれが自分の思いやアイデアを話したり、それに他のメンバーが共感したり、反論をしたり。アソシエーション活動をしている人たちは広い視野で捉えることができ、人の意見も聞いてから自分が発言する。当たり前のことができていた場所であることにうれしくなりました。モーニングサービスはどう？地域包括支援センターを巻き込むのは？「食」でつながるものは？信頼できる人からの誘いが重要などなど、「たくさんいいこと」が提案されて、どんどん楽しくなっていました。同じテーマでも集まる意見はいろいろあって、派生して他の地域の集合住宅の情報までもらえました。これが交流会の最大のメリットですね。

さて、次は3グループに分けられました。テーマはそれぞれ違い、多世代交流でウェルビーイング（well being）な生き方は？ハートに火をつけるにはどうする？藤沢茅ヶ崎エリアのまちをどうするか？という内容で話し合いました。自分ならこうしたい、そのためには何をすればいいの、他の人のアドバイスもすごく参考になります。成功例を聞いたり、夢に近づけた経



験や叶えた人の語りには心地よい重みを感じます。みんなすごくいい意味でおせっかいな人たちなのかな？だからこのワークショップが楽しくてたまらないのかもしれません。

それぞれのアソシエーション活動を知ることは、その人をリスペクトすることにつながるのだと実感しました。普段は仕事をして、休日や空いた時間でボランティア活動をしている人たちは、忙しいはずなのに悩みや困りごとに聞く耳を持ち、寄り添える気持ちが豊富なのです、きっと。次の交流会ではまた会える人たちが増えるのかもしれません。今からワクワクします。

報告：かわさき生活クラブ生協理事 熊谷 百合子



メンバー交流サイト「みんなのみらい」

メンバー交流サイト「みんなのみらい」は、実参加による情報共有・相互交流の場であるアソシエーション交流会と連動しながら、WEB上で自由な情報交換・意見交換をしています。参加する人・団体がアソシエーションどうしのゆるやかなつながりをつくり、地域の課題解決へ向けた市民活動の中で情報共有して活動の広がり、発展につなげる場として立ち上げました。

登録メンバーは自由に書き込み、共有できる掲示板交流サイトです。



メンバー登録はこちらから

7月に立ち上がった交流サイトは現在、登録メンバーが30人程になりました。スレッドの一部を紹介します。

- 資金カテゴリ
 - 子ども食堂を持続していくための資金調達方法
 - 「事業の持続性」ファンドレイジングに関して
- 人材カテゴリ
 - ボランティアから運営を担うメンバーに育成していく
 - 多様な層のボランティアメンバーが参加しやすい・参加したくなる交流機会のアイデア
 - 地域ボランティアの集め方
- ネットワークカテゴリ
 - 地域での市民団体のネットワーク形成
 - 自分の団体と他の団体の資源をマッチングするコーナー
 - 子ども食堂のあり方
- 雑談カテゴリ
 - 最近の活動
 - うちの団体ではこんな活動をしています。雑談。
- お知らせカテゴリ
 - 認知症予防 回想法講座のお知らせ
 - ラポール藤沢ペイント豚汁イベント
 - 横浜北生活クラブまちづくり基金フォーラムご案内
- 情報発信カテゴリ
 - ひろばをやっていることをどう発信し、情報を必要としている人に届けていけるか？
- 居場所、交流拠点カテゴリ
 - ハートに火をつけるには？…どうやって居場所をつくったのか
 - 場所の活用…アイデア 11/13交流会から
 - 多世代の交流…事例とアイデア 11/13交流会から

活動のヒントが欲しい方、「こんなアイデアがあるよ」という方、どうぞ登録して書き込みをしてください。

次回の「アソシエーション交流会」2025年1月25日（土）14:00～16:30
横浜市開港記念会館9号室

